

平成26年度
契約室予算要求方針

【目次】

- 1 平成26年度契約室予算要求総括表及び経営方針・・・・・・・・1
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・・・・・・・3

1 平成26年度契約室予算要求総括表及び経営方針

(1) 平成26年度契約室予算要求総括表

【一般会計】

平成26年度要求総額 61,943千円
 (平成25年度予算額 59,973千円)
 前年度比 +3.3%

《主な事業》

(単位：千円)

| 事業名 | 平成26年度 予算要求額 (A) | 平成25年度 予算額 (B) | 増減 (A-B) |
|--------------------|------------------------|----------------------|-------------|
| 電子入札システム △改修等経費 | 7,891 | 7,000 | 891 |
| 入札参加資格審査 | 1,946 | 627 | 1,319 |
| 登録業者の実態 調査 | 35,697 | 35,645 | 52 |
| 契約管理事務 | 8,540 | 8,542 | ▲2 |
| 公共工事に係る 暴力等相談事務 | 5,842 | 5,833 | 9 |

(2) 平成26年度契約室経営方針

「地元企業への優先発注」の方針を継続し、本市経済の振興と地元企業の育成に努める。

また、公共工事等市の事務事業から暴力団等を排除するとともに、実態のない業者等不良不適格業者の排除等に努める。

① 本市経済の振興と地元企業の育成

本市経済の振興と地元企業の育成を図るため、「地元企業への優先発注」を引き続き推進する。

② 市の事務事業からの暴力団等の排除

「北九州市暴力団排除条例」等に基づき、公共工事など市の事務事業から暴力団員又は暴力団、若しくは暴力団員と密接な関係を有する者を排除する。

③ 不良不適格業者の排除

企業実態調査等を実施し、実態のない業者等不良不適格業者の排除に努める。

④ 適正な契約事務の推進

契約手続きの公正性、透明性、競争性を確保するため、職員への研修等を通じて、適正な契約事務を推進する。

2 重点的に取り組みを行う主なもの

(1) 地元企業への優先発注

地元企業の受注機会拡大の観点から、地元企業で対応が可能なものは優先的に発注を行い、本市経済の振興と地元企業の育成を図る。

(2) 市の事務事業からの暴力団等の排除等

「北九州市暴力団排除条例」等に基づき、公共工事など市の事務事業から暴力団等を排除する。また、実態のない業者等不良不適格業者の排除にも努める。